

野外活動

プログラム名	昆虫カード集め ※団体主導			
概要	森の中に隠された木札に昆虫の書かれたカードを見つけ、グループ対抗で得点を競う。			
ねらい	グループ対抗で協力することを通して集団内のふれあいを深め、積極性や協調性を養う。ゲームを安全かつ公正に行うことでルールを守り協力することの大切さを学ぶ。森林の中で活動することで自然の心地よさを感じ探求心や自然愛護の心を培う。			
条件	対象	全年齢	人数（指導者人数）	～200人（2人以上）
	活動目安時間	90～150分	活動時期	通年
	活動場所	まるたの森	費用	不要
	下見	要	活動名簿提出	不要
持ち物・準備	（個人）運動靴、帽子、飲料、タオル、長袖、長ズボン ※必要に応じて虫よけスプレー （団体）筆記用具 （貸出）昆虫カード、集計用紙、バインダー			
安全上の留意点 （対策方法）	熱中症、脱水症状（適度な水分補給と休憩、帽子の着用の徹底） 転倒、転落（濡れているとき等特に足元に注意を促す） 自然災害（気象状況の把握、落雷等ある場合は指導者判断のもと速やかに青年の家へ避難する） 有害動植物（ハチ、ヘビ等が出たら立ち去るように指導し青年の家に連絡する、虫よけスプレー持参） 周辺の木や草などによる怪我（事前の注意徹底、長袖着用の徹底、木を振り回さない等の注意） 道路通行による事故（指導者は横断歩道に立ち通行誘導と道路端の縦列移動を指導する）			
活動内容（手順）				
事前①指導者配置の決定：所定の《活動プログラム時の団体指導者の役割分担表》を作成、提出 ②グループ編成：1グループ5～8人程度の編成 ③下見の実施：倉庫の場所および昆虫カードを確認、昆虫カードを隠す場所、危険な場所等を把握 （活動エリアは、マレットゴルフコース4～5番の看板の間で、平らな地面または斜面上方向3m以内とする） ④実施方法の決定：活動内容や時間、休憩時間の設定、昆虫カードを隠す種類と枚数を定める（例：グループ数+2枚×5種類） ⑤研修生への事前指導：「概要」「ねらい」「安全上の留意点」等の指導、服装や持ち物の確認				
活動前①打合せ（活動10分前）：事務室前で所員と団体責任者・担当指導者にて実施 実施判断：気象を基に、協議の上決定 確認事項：人数、健康状態、貸出備品 ②昆虫カード設置：昆虫カード設置の指導者は事前にまるたの森へ移動し昆虫カードを設置				
活動①活動場所への移動：車に注意して移動 連絡車両をログハウス横駐車場へ移動 ②指導：指導者より ルールの説明 ③活動開始：グループごとに行動 ④確認事項：人数、健康状態 ⑤振り返り：活動の感想を発表、結果発表 ⑥片付け：活動備品の返却と確認 ⑦報告：所員へ活動終了と研修生の健康状態を報告				

<その他>

- ・貸出備品については、薪小屋横の物置から持出し、片付けを行うこと
- ・どうしても見つからなかったカードについては活動終了後、必ず所員へ申し出ること

こんちゅう

昆

虫

カ

ー

ド



昆虫カード集め（指導者用）

「森の中にかくれているこの5種類のカードをグループで協力し、推理したりして探し出し、たくさん集める活動です。」

「活動エリアは4番看板から5番看板の間で下から3m程度です。制限時間は0分です。」
(1回の活動時間は10分～20分程を推奨)

「どのカードが何点なのかは分かりません。後で発表します。とにかくできるだけカードを集めましょう！」

(点数例：セミ1点・テントウムシ2点・チョウ3点・トンボ4点・カブトムシ5点)

「グループのリーダーは集計用紙に、No.、グループ名、氏名を書きましょう。」

「終了の合図をしたらグループ全員そろって、ここに集合しましょう。ここが本部です。」

「ハチやへビを見たらその場からすぐに立ち去り、直ぐに伝えること」

「質問はありますか？」

「それではスタートします。」（開始）

※それぞれ何枚かしたかを指導者で共有する。

※1回の活動で未回収カードがある場合はその状況を研修生に伝え、今から見つけたカードは点数を倍にするなどで未回収カードを探しに行かせる。（時間があれば更に繰り返し返す）

それでも未回収カードがある場合は活動終了時に所員に報告する。

※トイレ休憩や給水タイムを設けて研修生の体調管理に努める。

※ハチやへビ等の有害生物の発見や、怪我・体調不良者が出た場合は所員に報告する。

昆虫カード集め 集計用紙

NO.	グループ名			
氏名				

昆虫カード			
種類	点数	枚数	得点
セミ			
テントウムシ			
チョウ			
トンボ			
カブトムシ			
総得点			点
順位			位